

SAWARA

千葉の

小江戸で



佐原駅・小野川周辺

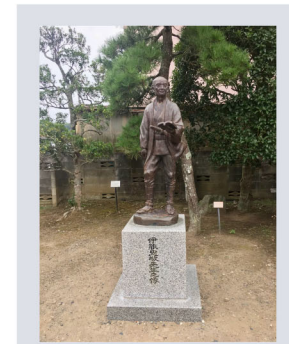
MAP



▲①付近の川沿いでは、このようなおしゃれなポートレートも撮ることができます。



▲佐原駅の外装は、町の雰囲気や崩さない木を基調としたデザインになっています



▲④付近の伊能忠敬旧宅にある伊能忠敬像



▲②の佐原商家町ホテルNIPPONIAのフロント兼レストランの「GEISHO」の外装。古民家を改装した、おしゃれなレストランです。

水郷の町「佐原」で理想郷のような時間を過ごす

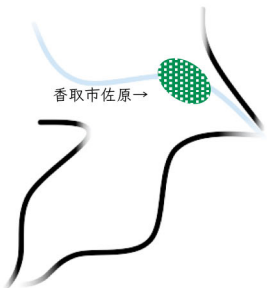
佐原は、千葉県香取市にあるこじんまりとした味わいのある下町で、水の郷と呼ばれています。舟めぐりができ、舟からは江戸情緒のある町並みやしだれ柳、白鳥などが見られ、小江戸気分を味わえます。

町には着物をレンタルする場所があるので、着物を着てのんびり散歩したり、古民家を再利用したフレンチレストランでランチを楽しむこともできます。

また、佐原は日本最初の全国実測地図を作成した伊能忠敬とゆかりの深い地でもあります。町中には伊能忠敬の旧家を元にした記念館が建っており、自由に参観することができます。

それでは、佐原での一日をお楽しみください。

- 【アクセス】（東京駅から）
- 車：首都高速道路一湾岸市川IC—東関東自動車道—佐原香取IC（約70分）
 - 電車：東京駅—成田駅—佐原駅（約120分）
 - 高速バス：JR 高速バス 佐原・麻生・銚田線 銚田駅行き（約80分）
千葉交通 銚子東京線 佐原ルート銚子駅行き約100分）



着物

1

「いつもと違った旅の思い出を。着物を着て、佐原の町を散策しませんか……？佐原では、実際に着物を着ることができます。たくさんの種類の着物から自分好みの一着を選んで、素敵な旅行にしましょう！」

(取材班：橋本)



▲さわら町屋館(上川岸小公園)にて着付けいたします
※夏季は浴衣になります
1日レンタル/3,500円～
所要時間/20分程度

おすすめコース

取材した千葉大生の声とともに、半日でも佐原を満喫できるコースをご紹介します



▲佐原商家町ホテルNIPPONIA「GEISHO棟」のレストラン
ランチ/3,024円～(税込)
ディナー/5,940円～(税・サービス料込)
※お子様用のメニューもございます

2

グルメ

「旅にはおいしいごはんが欠かせませんよね。佐原では、古民家を改装したレストランでお料理をいただけます。ポイントは何といても、地元で獲れた新鮮な素材を使用していること。佐原の魅力舌を舌で味わえます。」

(澤崎)

町並み

3

「佐原では、江戸時代の風情を残す町並みが広がっています。町の中に入ると、まるでタイムスリップしたかのような気分。一つひとつの建物をゆっくりまわり、じっくりと非日常の空間を味わうことができます。水郷の面影を残す小野川も魅力的。」

(大六野)



▼(株)ぶれきめらの運営する観光遊覧船は往復30分の乗船で大人1,300円(小学生700円)。運行時間は10:00～16:30(冬季は15:30)。当日の天候により、休止する場合があります。



4

水上散歩

復興支援

5

「ここ佐原も去る東日本大震災で大きな被害を受けました。古民家前の石畳は、その時に落下した瓦が再利用されています。大きさがバラバラな石の並びが古民家の雰囲気と相性バッチリです。地域が一体となってこの町を復興した証ともいえるでしょう。」

(大六野)



▶佐原商家町ホテルNIPPONIAの「GOKO棟」の中庭の様子

▶佐原商家町ホテルNIPPONIAの「GOKO棟」
詳しくは下記ホームページにてご確認ください

6

宿泊



「佐原にせっかく来たのなら、古民家ホテルで一泊しませんか。古民家ホテルは、100年前の古民家を、使える木はそのまま残して改築した、風情溢れるホテルです。中は広々としていて、落ち着いた雰囲気をしています。木の温もりや香りを感じ、小江戸の歴史に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか……？」

(橋本)

【詳細・ご予約はこちらから】
さわら町屋館の詳細
<https://www.nipponia-sawara.com/uwagashi/>

ぶれきめら・水上散歩の詳細
<http://www.kimera-sawara.co.jp/business/boat.html>

佐原商家町ホテルNIPPONIA
ホテル・レストランご予約
<https://www.nipponia-sawara.jp>

【取材協力】
株式会社NIPPONIA SAWARA、佐原商家町ホテルNIPPONIA

限定クーポン！

※有効期限はございません
※佐原の大祭期間中・年末年始・GW・お盆期間を除きます

佐原商家町ホテルNIPPONIA
フレンチレストランGEISHO ランチ割引
(ご利用総額より10%オフ)
予約時に「エコ発信局のリーフレットを見た」とお伝えいただくか、来店時に本リーフレットをお見せください。

佐原商家町ホテルNIPPONIA
宿泊料金割引
(宿泊代より15%オフ)
予約時に「エコ発信局のリーフレットを見たので15%割引で予約したい」とお伝えください。

歴史の残る町、佐原

町の真ん中に小野川の通る佐原は、江戸時代に行われた利根川の大規模整備により舟運が盛んになった時、物資の集散地として栄え始めました。小野川には物資を陸に上げるための「だし」と呼ばれる石段が多く作られました。この河岸施設は今でも見ることができます。南から北へと流れる小野川沿いに栄え、発展していききました。

明治以降もしばらく繁栄は続きました。”北総の小江戸”、”水郷の町”と呼ばれ「お江戸見たけりゃ佐原へござれ、佐原本町江戸まさり」と唄われ、昭和の中頃まで成田から鹿嶋にかけての広範囲な商圏を持つ町となりました。

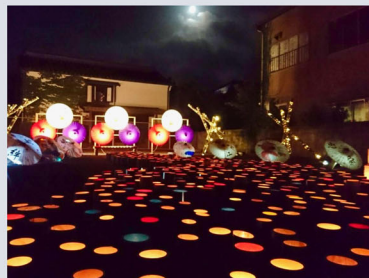
1996年、小野川沿いと香取街道周辺が関東地方で初めて**重要伝統的建造物群保存地区**として選定されました。江戸時代末期から昭和時代前期に建てられた木造町家建築や蔵造りの店舗建築、洋風建築などから構成され、江戸の雰囲気そのままに土蔵造りの商家や町屋が軒を連ねた町並みを見ることができます。小野川に架かる**樋橋**は日本の音風景100選に選定されました。また、小野川沿いは**電線類地中化**が進み、歴史的な景観ができます。

小野川沿いを中心とした地区では「**佐原の大祭**」と呼ばれる、本宿祇園祭と新宿秋祭りがそれぞれ7月と10月に行われ、夏秋合計で24台の豪華絢爛な山車が佐原ばやしとともに曳き廻されます。佐原の大祭はに関東三大祭りの一つであり、2016年にユネスコ**世界無形文化遺産**に登録されています。

近年では、佐原の町並みを夏の夕暮れに楽しむことを目的として、竹灯りのライトアップや灯籠流しの催しが、8月のお盆の時期に行われています。



▲水上散歩では、「だし」という石段を間近に見ることができます。



▲「さわら・町並み・竹灯りへゆかたで楽しむ灯りと音へ」では、ライトアップや夢灯籠流しを楽しむことができます。

伊能忠敬ゆかりの地

伊能忠敬は、江戸時代に日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を完成させた人物です。

1745年、現在の千葉県九十九里町で生まれ、横芝光町で青年時代を過ごし、17歳で伊能家当主となりました。佐原で家業のほか村のため名主や村方後見として活躍しました。

その後、家督を譲り隠居して、勘解由と名乗り50歳で江戸に出て、55歳から17年間、10回にもわたり測量を行いました。その結果完成した地図「**大日本沿海輿地全図**」は、極めて精度の高いものでした。



▲伊能忠敬旧宅は忠敬が30年余りをすごした家で、国の史跡に指定されています。

千葉大学環境ISO学生委員会のご紹介

当委員会は、千葉大学における環境マネジメントシステムの構築と運用において環境方針に掲げられた学生の主体的な活動を促進するために、2003年10月に設立されました。現在は、西千葉、亥鼻、松戸キャンパスを含め、約200名の学生が参加しています。大学の環境活動の中心を担う公的な学生組織として、学生主体で大学の環境・エネルギーマネジメントシステムを運用しています。

具体的な活動として、基礎研修、内部監査、外部審査などを行なっているほか、大学内では学生や教職員の環境意識向上のためのイベントや、環境整備のための各種活動を行っています。また、地域の小学校やイベントでの環境教育や、企業と協同で様々なプロジェクトも行っています。



公式HP：<http://env.chiba-univ.net>



千葉大学×京葉銀行 ecoプロジェクト ～7色の虹を千葉から未来へ～

京葉銀行と千葉大学環境ISO学生委員会は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、まずは、「地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献したい」という想いから、2017年に協同で本プロジェクトを発足させました。本プロジェクトでは京葉銀行の行員や取引先企業はもちろん、地域住民や千葉大学の学生などを含めた千葉県内の多くの方々を対象に、環境意識の啓発活動を実践して参ります。

「学生発案の7つの環境貢献企画」では、県民の皆様や京葉銀行の構成員、取引先企業、千葉大生に対して、環境意識の啓発を行うために、学生がさまざまな企画を提案し、7つの企画を実践しています。



公式HP：https://www.keiyo-bank.co.jp/ir/eco_project/

エコ発信局「千葉をもっと知って楽しく」

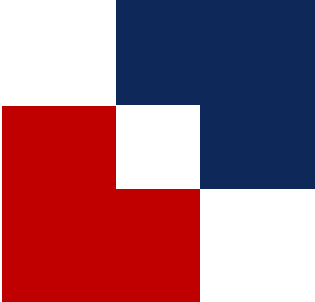
本プロジェクトの一環として、2019年8月に千葉大学環境ISO学生委員会の6人と京葉銀行行員3名が株式会社 NIPPONIA SAWARA様のご協力のもと、千葉県香取市の佐原取材しました。

千葉県内には、千葉大学に通う学生でもあまり馴染みのない文化や特産品が多く存在します。それらを知ることで、千葉についての理解を深め、地域貢献と地産地消を結びつけることに繋がりたいという思いからこの企画が生まれました。この企画は実際に文化や特産品に触れ、発信していくことが特徴です。

【エコ発信局HP】https://www.keiyo-bank.co.jp/ir/eco_project/column.html



▲取材班（深田、橋本、稲村、大六野、澤崎、洪）



歩け、
歩け。
続けることの
大切さ。
伊能忠敬

【お問い合わせ先】

○千葉大学環境ISO学生委員会

Mail : iso-student@chiba-u.jp

Twitter : @chibaiso

Facebook : 千葉大学環境ISO学生委員会

○株式会社京葉銀行 法人営業部

Tel : 043-306-8176
